

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer V3 ご使用上のお願い

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer V3の使用上の 注意事項を連絡します。

- 1.RX64M および RX71Mグループのブートモード(USBインタフェース)でコマンド 実行するとエラーが発生する注意事項
- 2.E1 および E20エミュレータのセルフチェック結果がエラーになる注意事項

1. RX64M および RX71Mグループのブートモード(USBインタフェース)でコマンド 実行するとエラーが発生する注意事項

1.1 該当バージョン V3.00.00

1.2 対象マイコン RX64Mグループ、RX71Mグループ

1.3 内容

対象マイコンとの接続がブートモード(USBインタフェース)の場合、書き込み等の各コマンドを実行するとマイコンとの接続時に以下のエラーが発生します。

エラー(E100000D): デバイスでフローエラーが発生しました。(Response 34:C3)

1.4 暫定対策

Renesas Flash Programmer V2.05.02 または V2.05.03(2016年3月リリース予定)を使用してください。

1.5 恒久対策

V3.01.00(2016年5月リリース予定)で改修予定です。

2. E1 および E20エミュレータのセルフチェック結果がエラーになる注意事項

2.1 該当バージョン

V3.00.00

2.2 対象マイコン

Renesas Flash Programmerがサポートしているマイコン全て

2.3 内容

Renesas Flash Programmer V3.00.00で接続したことのあるE1 または E20 エミュレータをE1 または E20エミュレータのセルフチェックプログラムを使用して自己診断を行うと、結果がエラーになります。

セルフチェックプログラムのエラーに関するログは以下です。

```
[Result of TEST1]   FAIL (Error 1103)
[Error Message]    The E1/E20 self-check has failed.
[Error Detail]     Internal module check has failed.
```

なお、セルフチェックプログラム以外(フラッシュ書き込み機能やデバッグ機能)は正常に動作します。

補足:

E1 または E20エミュレータをRenesas Flash Programmer V3.00.00に接続するとエミュレータ内のファームウェアが書き換えられます。そのため、このエミュレータでセルフチェックプログラムを実行するとエラーになります。

2.4 暫定対策

以下の手順でエミュレータのファームウェアを元の状態に戻し、セルフチェックプログラムを再実行の上、正常終了を確認してください。正常終了を確認後、Renesas Flash Programmer V3.00.00をご使用ください。

なお、使用するRenesas Flash Programmerとの接続でセルフチェックプログラムの正常終了の確認が必要な場合は、Renesas Flash Programmer V2.05.02 または V2.05.03(2016年3月リリース予定)をご使用ください。

[E1 または E20エミュレータのファームウェアを元の状態に戻す手順]

Renesas Flash Programmer V2.05.02 または V2.05.03を以下のURLから入手の上、a.からl.の手順でファームウェアを元の状態に戻してください。

https://www.renesas.com/rfp_download

- a. セルフチェックプログラムを終了
- b. E1 または E20エミュレータをホストPCにUSB接続
ターゲットシステムは接続しないでください。

- c. Renesas Flash Programmer V2.05.02 または V2.05.03を起動
- d. [ようこそ]ダイアログ
新しいワークスペースの作成: "Basicモード"を選択
[次へ]をクリック
- e. [新しいワークスペースの作成]ダイアログ
使用するターゲット・マイクロコントローラ:
[RH850、RL78ファミリをご使用の場合]
"RH850" "Generic Boot Device"を選択
[RXファミリをご使用の場合]
"RX" "Generic Boot Device"を選択
ワークスペース名とプロジェクト名を入力
作成場所を指定
[次へ]をクリック
- f. [通信方式]ダイアログ
"E1"または"E20"を選択
[次へ]をクリック
- g. [電源]ダイアログ
そのまま[OK]をクリック
- h. [接続時のモードピン]ダイアログ[RXファミリをご使用の場合]
そのまま[OK]をクリック
- i. [確認(Q1010002)]ダイアログ
そのまま[OK]をクリック
- j. [エミュレータ選択]ダイアログ
そのまま[OK]をクリック
- k. E1 および E20エミュレータのファームウェアが書き換えられます。
なお、以下がメインウィンドウの出力パネルに表示されます。
アダプタソフトがアップデートされました
E1/E20のコンフィグデータをダウンロードしました。
エラー(E1017025): ターゲットに電源が供給されていません
エラー(E1010002): Genericデバイスの問い合わせは失敗しました
- l. [通信方式]ダイアログ
[キャンセル]をクリックして、Renesas Flash Programmerを終了

2.5 恒久対策

V3.01.00 (2016年5月リリース予定) で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。